

### 九月議会に提出された請願の審査結果

- 単県医療費公費助成制度の一部負担についての請願書 ↓ 採択
- 郊外大型店舗出店に反対する請願書 ↓ 採択
- 医療費無料化制度の充実を求める請願書 ↓ 継続審査

### 道路整備予算の確保に関する意見書

(抜粋)

新生津山市としても、道路が果たす役割は大きなものがありますが、道路整備水準は依然として低く、生活道路、市内を通過する国道や主要地方道などの幹線道路についても整備促進が強く望まれております。次の事項について特段の配慮がなされますよう強く要望します。

記

- 一、受益者負担による合理的な制度である道路特定財源の目的に基づき、必要な予算を確保すること。
- 二、道路特定財源の用途については、道路利用者や納税者である国民の意見を適切に反映すること。また、国民にわかりやすい形で、道路整備の将来ビジョンを説明し、それに必要となる額を提示すること。
- 三、安全で安心な暮らしの確保や道路交通の円滑化を図り、また都市及び地方の活性化や経済活動の発展を支えるため、効果的かつ効率的に国民の期待する道路整備を実現すること。
- 四、美しい景観の保全・創造に向け、自然や歴史・文化などの資源を有効に活用した美しく味わいのある道づくりを目指すこと。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出します。

平成十八年九月二十六日

岡山県津山市議会

### 広域行政調査特別委員会中間報告

今議会において、報告されました中間報告を要約したものを紹介します。

当委員会は、広域行政の緊急課題である「ごみ処理センター建設」について調査研究してきました。市長方針により、新候補地を三ヶ月間公募し、年度内の適地選定を目指しています。現焼却施設の使用期限は、平成二十四年三月まで延長されており、しかし、新施設建設は、環境影響評価着手から六年半が必要であり、現時点で、二年程度の遅れは取り戻せず、可燃ごみの持ち出しは避けられないといえます。最低でも年間一八億二千万円の処理費が必要ということからも、その倍以上の処理費を要す恐れがあります。この処理費の減額のためには、新施設の早期完成と、徹底したごみ減量化・資源化を図ることしかなく、当委員会も一層努力が必要と考えます。

### 表紙写真の説明

今回は東幼稚園と河辺幼稚園を撮影に行きました。東幼稚園に通園している児童は五十五人で、二クラス編成です。

園の目標は、「心豊かでたくましい子どもを育てる」で、「幼児が自ら周りの環境にかかわり、自分なりに表現し、お互いに認め合う生活を通して、豊かな心情を育てる」ことなどを指導の重点にされています。

河辺幼稚園に通園している児童は三十一人で、二クラス編成となっています。

園の目標は、「支えあう仲間づくり」で、「身近な自然・地域の人々とのふれあいや様々な体験を通しての充実感を味わわせながら、豊かな感性や心情を育む」ことなどを指導の重点とされています。

園名は合成写真です。

### 編集後記

九月議会が開会された四日には「暑い、残暑の厳しい」氣候でしたが、閉会となった二十九日には、「朝夕は「寒い」という感じとなり、秋本番を迎える氣候となり、季節の移り変わりを実感できるのが、九月定例会です。

平成十七年度決算議案の提案、本会議における「決算一般質問」が日程に入るから、ほぼ、一ヶ月をかける議会となるわけです。

今議会の一つの特徴として、特筆しておきたいのは、議会に説明、報告もなされないままに、市長部局が「大切な施策」を定例記者会見と称してマスコミに流す、マスコミ記事を見て、市民が議員に質問する・・・議員は「意味不明」ということが目立ってきた、どうするか、改善策は等などが話題になったことです。改善のあり方は、今後の市長部局と議会の正常な「ありよう」への改善が行われることを期待するものです。(編集長・末永)

行革目白押し議会。市民によく分かる街づくりとは。分かりやすい言葉や丁寧な説明が必要です。議会にも責任があります。目先の事にとらわれないこと。(靖)

読書の秋、食欲の秋、一つ付け加え健康の秋。何をすすめるにも良い季節。少し背伸びをする時、ときには足元を見てもう一度基本に立ちながら一歩一歩前進・・・。(豊)

芸術・文化、スポーツ、食欲と美りの秋。新市長誕生から六ヶ月、二回目の議会。「ブータン王国」から「しあわせ大津山」どんな夢が実るのでしょうか。(造)

### 広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之・〇谷口圭三・勝山 修・齋藤弘道
- 高橋 誠・竹内靖人・仁木豊司・吉田耕造